

お元気ですか  
保健師です

# 女性のからだを守るために… 「乳がん検診・子宮がん検診」を受けまじょう！

申込み・お問い合わせ  
保健福祉課保健・介護グループ  
総合福祉センター「ハピネス」  
4-3-356

女性の「乳がん」「子宮がん」は若い世代にも多く、増加傾向にあります。日本人女性がかかるがんの中で最も多いのが乳がんです。また、子宮がんでは、低年齢化が進んでいます。正しい知識と行動が乳がん・子宮がんからあなたを守ることに繋がります。まずは今のからだの状態を知るため、定期検診を受けましょう。

初期のがんは自覚症状がほとんどありません

乳がん・子宮がんは、がん細胞が増殖し始めても、自覚症状はほとんどありません。自覚症状が出るのは、がん細胞が増え、体に害を与え始めてからがほとんどです。乳がん検診では、触れるだけでは分からない段階の「がん」を、しこりとしてあらわれないがんも発見できます。子宮がん検診では、がんになる前の「前がん病変」や初期の「がん」

ど、自覚症状がない段階も見つけることができます。早期発見・治療ができるよう定期検診を受けることが何より大切です。

## 乳がん検診

マンモグラフィ（乳房のレントゲン写真）を撮ります。乳がんを早期に見つけるためには、乳がん検診を受けるほか、毎月1回自分で乳房を見て触る「自己検診」も大切です。40歳を過ぎたら2年に1回は乳がん検診を受けましょう。

## 子宮がん検診

子宮の入り口（頸部）と必要であれば子宮の奥（体部）の検査ができます。子宮がん検診は、子宮頸部の細胞を調べます。閉経後で不正出血のある場合には、体部（内膜）の細胞を検査します。また、超音波検査をあわせて行うことで、がん以外にも子宮筋腫

や卵巣のう腫などを見つけることができます。若い世代の子宮頸がんが増えていきます。20歳を過ぎたら2年に1回は子宮がん検診を受けましょう。

## 個別検診について

旭川がん検診センターで、ご都合にあわせて個別に受けられることもできます。日曜日に行われる「日曜がん検診」も6回（6月27日、9月12日、10月17日、12月12日、2月13日、3月13日）ありますので、お仕事等で平日のご利用が難しい人にもお勧めです。日曜検診の申し込みは1か月前から可能です。旭川がん検診センターに直接お問い合わせ、お申し込みください。

旭川がん検診センター  
予約専用フリーダイヤル  
☎0120-927-489

## ■検診料金

検診内容		対象者	一般	国保	後期高齢者 医療被保険者
乳がん検診	一方向	50歳以上	1,600円	800円	500円
	二方向	40～49歳	1,900円	1,000円	
子宮がん検診	頸部	20歳以上	1,800円	900円	600円
	体部	閉経後、不正出血等のある人	800円	400円	300円
子宮・卵巣の超音波検査		20歳以上	どなたも1,050円		

## 無料の機会をご利用ください

今年度、次の年齢の人にご検診無料の案内文を郵送しています。検診の申し込みをして、検診当日にご持参ください（紛失した場合は、再発行しますのでご連絡ください）。

- ◆乳がん検診…40歳・41歳・46歳・51歳・56歳・61歳になる人
- ◆子宮がん検診…20歳・21歳・26歳・31歳・36歳・41歳になる人

**産後ケア事業の利用料**  
産後ケア事業の利用料が変りました  
利用回数が増えました

**対象者**  
下川町に住所のある産後11か月までの人

**場所**  
自宅（里帰りの場合はご相談ください）またはのぐち母乳育児相談室（名寄市西10条9丁目48-60）等の産後ケア事業実施施設

**利用料**  
自宅への訪問の場合  
利用料金から7,000円を除いた額  
利用施設への通所の場合  
利用料金から6,000円を除いた額

**利用回数**  
10回まで利用できます

**不妊治療支援事業の助成内容**  
助成内容が変りました

**不妊治療支援事業**  
不妊治療を希望している夫婦の心身及び経済的負担の軽減を図るため、不妊治療費を助成します。治療を受けられる前からの相談なども行っています。

**助成内容**  
①特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）及び男性不妊治療（精子を精巣又は精巣上体から採取するための手術）は、それぞれ1回あたりの治療費から北海道特定不妊治療費助成事業の助成金額を減じた自己負担額の2分の1（15万円を限度）を助成します。ただし、北海道特定不妊治療費助成事業を受けていた人が、回数制限により道の助成金を受けられない時は、1回当たり自己負担額の2分の1（15万円を限度）を助成します。

②人工授精・一般不妊治療（保険適用外）は、自己負担額の2分の1を限度として助成します。

## 保健師・栄養士の担当地区の紹介

住民の皆様が健康に過ごせますよう、健康づくりの支援をさせていただきます。今年度の保健師・栄養士の担当地区をお知らせいたします。

## ■担当地区

藪島保健師	野崎保健師	木村保健師	瀬澤保健師	又村栄養士
全町	幸町、錦町、末広町	上名寄第一・第二・第三、北町、元町、共栄町、旭町、新町	中成南、中成北、班溪、緑町、三和、二の橋、一の橋	全町

